NIE実践報告

1．タイトル：新聞を読んで、見て、自分の学習に生かそう

2．学校名

秋田県八峰町立水沢小学校

3．実践者名（代表者名）

大高英典（代表者）

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　17人

6．単元（本時の学習課題）名

「まだ19歳」　（目標に向かって努力する　　希望・勇気・不撓不屈）

7．目標(狙い)

パラリンピック出場者の記事を読んで感じたことを話し合うことによって、自分の目標に向かってくじけずに希望と勇気をもって取り組もうとする態度を育てる。

8．評価の視点

くじけすに努力する大井さんの気持ちに共感し、自分の目標に向かいあきらめずに取り組もうとする気持ちになったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「なぜ子どもは学校に行かねばらならないのか（生き甲斐を求めて）」［道徳：1時間］［まだ19歳（目標に向かって努力する）」［本時］「橋を架ける（くじけない心）」［道徳：1時間］　　合計3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①資料「まだ19歳（9月15日　毎日新聞）」を読み、大井さんが努力を続けるわけを考える。
②事故で下半身が麻痺してしまったときの大井さんの気持ちを想像する。
③大井さんが自分のことを「まだ19歳」と言うわけを考える。
④大井さんの言葉の続きを考えて書く。
⑤自分の生活を見直し、あきらめずに続けたいことを考える。
⑥感想を書き発表する。

（留意点）
・事前の活動として、パラリンピックの関連記事を集めコメントを付けてNIEコーナーを模様替えする。
・事前にパラリンピックコーナーに掲示してある各新聞を読むようにする。
・大井さんへのインタビューの部分の一部を伏せて資料を提示し、伏せた部分を考えさせるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

競技内容や結果などの特集だけでなく、それぞれの選手の歩んできた道のりの記事に興味をもち、感動する児童が多かった。写真や記事を食い入るように見つめている児童がほとんどであった。

12．成果と課題

道徳資料として新聞記事を活用することにより、①身近な話題や②タイムリーな話題を取り上げて③様々な道徳的な価値に気づかせる指導ができることが分かった。今後は、記事の内容を構造図にするなど資料分析をしっかり行い、展開を工夫することで、道徳的実践力の育成を図っていきたい。